

昇降式移乗装置

～自身での立ち上がりが困難な方を短時間で移乗～

● 藤田医科大学 教授 才藤栄一 ● トヨタ自動車株式会社 菅 敬介

成果概要

現在、国内で要介護認定を受けている高齢者は600万人に迫っている。多くの介護者は腰痛を経験しており、その主な原因として日々の移乗作業があげられる。本装置の開発では、介護者が、既存の介護リフトと比較して短い時間で介護できることを目指した。本プロジェクトにおいては、車いす利用の高齢者に開発した装置を使っただけ、持ち上げの性能や作業のやりやすさについて実証を行った。

実証試験の結果

- 高齢者施設にて、日常的に車いすを利用している方数名で検証したところ、持ち上げの性能に問題ないことを確認した。
- ベッドと車いすの通常の移乗作業においては、作業性もよく、習熟に要する期間も少なく作業できると評価が得られた。
- トイレでは着脱衣の作業手順が多く、引き続き改善が必要という結果が得られた。

今後の展開

実証の結果、ベッドと車いすの通常の移乗作業では既存の移乗機器と比較して、優位な点も見られたが、最も差別化ができると期待されたトイレでの移乗において、着脱衣の手順の複雑さが指摘された。今後は、新たなコンセプトの導入などを行い、将来の介護の現場に貢献したいと考える。



昇降式移乗装置

- お問い合わせ先：トヨタ自動車株式会社 BR-メディケアロボット室 宮川 透
e-mail : toru_miyagawa@mail.toyota.co.jp 電話番号：0565-98-6493 FAX：0565-98-6462
- 特許の有無：有